徒然草（亀山殿の御池に）＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

亀山殿の御池に大井川の水をまかせられんとて、大井の土民に仰せて、水車を作らせけり。多くの銭を給ひて、数日に営み出だして、掛けたりけるに、おほかためぐらざりければ、とかく直しけれども、つひに回らで、いたづらに立てりけり。

さて、宇治の里人を召して、こしらへさせられければ、やすらかに結ひて参らせたりけるが、思ふやうにめぐりて、水をくみ入るることめでたかりけり。

よろづに、その道を知れる者は、やんごとなきものなり。

問一　傍線部①「やすらかに結ひて」、②「思ふやうにめぐりて」、③「水をくみ入るることめでたかりけり」のそれぞれの部分に対比される部分を文中から抜き出しなさい。

問二　波線部A「くみ入るる」、B「知れ」の各動詞の活用表を完成させなさい。

問三　二重傍線部ア「つひに回らで」、イ「こしらへさせられければ」を現代語訳しなさい。

問四　点線部1「給ひて」、2「営み出だして」、3「立てりけり」、4「結ひて」、5「めぐりて」のそれぞれの部分の主語は何か、答えなさい。

問五　二重傍線部ウ「その道を知れる者」とあるが、この章段では「その道を知れる者」とは、どのようなことをしただれのことか、答えなさい。

学年										
組										
番号										
氏名										
得点										

問一		問二			問三		問四		問五
①	③		A	B	ア	イ	1	4	
		未然							
		連用					2	5	
		終止							
	②	連体							
		已然					3		
		命令							

徒然草（亀山殿の御池に）　＊

〔出題の意図と留意点〕　話の展開を正確に捉えているかを問題としている。特に、対比的に説明がなされていることに留意して、その対応関係がしっかり理解されているかがポイントである。

☆解答例と配点

問一　①　数日に営み出だして　②　おほかためぐらざりければ　③　つひに回らでいたづらに立てりけり　〈3点×3〉

問二　A　くみ入れ　くみ入れ　くみ入る　くみ入るる　くみ入るれ　くみ入れよ　　B　知ら　知り　知る　知る　知れ　知れ　〈4点×2〉

問三　ア　結局回らないで　イ　お作りにならせたところ　〈5点×2〉

問四　1　水車を作らせた人　2　大井の土民　3　水車　4　宇治の里人　5　水車　〈3点×5〉

問五　水車をうまく作った宇治の里人　〈8点〉

計50点

徒然草（亀山殿の御池に）＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

亀山殿の御池に大井川の水を①まかせられんとて、大井の土民に仰せて、水車を作らせけり。多くの銭を給ひて、数日に営み出だして、掛けたりけるに、②おほかためぐらざりければ、とかく直しけれども、イつひに回らで、いたづらに立てりけり。

さて、宇治の里人を召して、ウこしらへさせられければ、A やすらかに結ひて参らせたりけるが、B 思ふやうにめぐりて、C 水をくみ入るることめでたかりけり。

問一　波線部A「やすらかに結ひて」、B「思ふやうにめぐりて」、C「水をくみ入るることめでたかりけり」のそれぞれの部分に対比される部分を文中から抜き出しなさい。

問二　二重傍線部ア～エの語の品詞名を書きなさい。

問三　傍線部①「まかせられん」、②「おほかためぐらざりければ」を現代語訳しなさい。

問四　この章段の評言として、最も適切なものを次の中から選び、記号で選びなさい。

ア　よろづに、その道を知れる者は、やんごとなきものなり。
イ　道を知らざらん者、かばかり恐れなんや。
ウ　少しのことにも先達はあらまほしきことなり。
エ　あやしき下らふなれども、聖人のいましめにかなへり。

問五　次の文は、この文章で作者はどのようなやり方で、どのようなことを伝えようとしているのかを説明したものである。空欄A～Dに当てはまる語を入れなさい。

大井の土民と［A］の両者に［B］を作らせ、その出来、［C］を見ることによって［D］とはあることについて［E］している者のことだとわかるようにしている。

学年		組		番号		氏名		得点	

問一		問二	問三		問四	問五	
①	③	ア	①	②		A	D
		イ				B	E
		ウ				C	
		エ					

徒然草（亀山殿の御池に）　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　本文が十分に読み込まれているかを確認するとともに、対比されている人々の様子が整理されて理解されているかをみている。また、全体の構成に留意しているかも問題としている。

☆解答例と配点

問一　A　数日に営み出だして　B　おほかためぐらざりければ　C　つひに回らでいたづらに立てりけり　〈3点×4〉

問二　ア助動詞　イ副詞　ウ動詞　エ形容詞　〈4点×2〉

問三　①　お引き入れになろう　②　全然回らなかったので　〈5点〉

問四　ア　〈5点〉

問五　A宇治の里人　B水車　C不出来　D名人　Eよく理解　〈2点×5〉

計50点

徒然草（亀山殿の御池に）　＊＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

亀山殿の御池に大井川の水をまかせられんとて、大井の土民に仰せて、水車を作らせられけり。①多くの銭を給ひて、数日に営み出だし A 、掛けたりける B 、おほかためぐらざりけれ C 、とかく直しけれ D 、つひに回らず。E 、いたづらに立てりけり。さて、宇治の里人を召して、こしらへさせられければ、やすらかに結ひて参らせたりけるが、思ふやうにめぐりて、水をくみ入るること②めでたかりけり。よろづに、その道を知れる者は、③やんごとなきものなり。

問一　空欄A～Eに入る助詞として、適切なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　に　　イ　て　　ウ　で　　エ　ば　　オ　ども

問二　〔例〕にならって二重傍線「作らせられけり」を品詞分解し、助動詞については、後から意味を選んで記号で答えなさい。

〔例〕日も暮れぬ――→日（名詞）／も（助詞）／暮れ（動詞）／ぬ（助動詞・ア）

ア　完了　　イ　過去　　ウ　推量　　エ　受身　　オ　尊敬　　カ　使役

問三　傍線部①「多くの銭を給ひて」、③「やんごとなきものなり」を現代語訳しなさい。

問四　傍線部②「めでたかり」とあるが、この「めでたし」と同じ意味で使われているものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　こぼれかかりたる髪、つやつやとめでたう見ゆ。

イ　古き人々心細くおぼえて、めでたき祝ひのなかに涙を流し、心をいたましむ。

ウ　「作れ」と仰せられけるを、うけたまはりて「源氏」を作りたりけるこそ、いみじくめでたく侍れ。

問五　この章段を三つに分ける時、第二段落と第三段落の初めの三文字ずつを書き抜きなさい。（句読点を含む）

また、その三段落それぞれの文章全体に対する役割を示すものとして、最も適切なものを次から記号で選びなさい。

ア　（第一段落）起承　（第二段落）転　（第三段落）結

イ　（第一段落）起　（第二段落）承転　（第三段落）結

ウ　（第一段落）起　（第二段落）承　（第三段落）転結

学年	
組	
番号	
氏名	
得点	

問一	問二	問三		問四	問五	
		①	③		第二段落	役割
A						
B						
C						
					第三段落	
D						
E						

徒然草（亀山殿の御池に）　＊＊＊

〔出題の意図と留意点〕　話の内容が二種類の登場人物に対応させて十分に捉えられているかを確認する。また、応用的な知識が身に付いているかを問うている。暗記するくらいに本文を読み込んでおくことが大切である。

☆解答例と配点

問一　Ａ　**イ**　Ｂ　**ア**　Ｃ　**エ**　Ｄ　**オ**　Ｅ　**ウ**　〈3点×5〉

問二　作らせ（動詞）／られ（助動詞・**オ**）／けり（助動詞・**イ**）　〈10点〉〔動詞2点・助動詞4点〕

問三　①　多くの金銭をお与えになり　③　たいしたものである　〈5点×2〉

問四　**ウ**　〈5点〉

問五　（第二段落）さて、（第三段落）よろづ（役割）**ア**　〈10点〉〔段落3点×2・役割4点〕

計50点